

ついでにミニネットコーナー

ミニネット
No.15

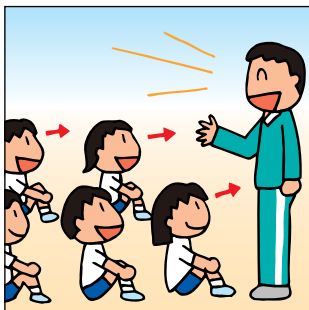
「三角(体育)座り」の意味

夏休みが終わると、多くの学校では運動会の練習が始まります。その際、演技や競技の説明などをするシーンが増えますが、このとき、おそらく児童に「三角座り」をさせることが多いのではないのでしょうか。

さて、この「三角座り」ですが、いったいどんな意味があるのでしょうか？ もし意味がないのなら、他の座り方でも良いはずですが。

三角座りをする意味について、子どもたちには次のように話します。

「三角座りは、砂いじりや手遊びをしやすいようにする



のではありません。運動場などの広い場所で人の話を聞くときに便利だからするので。この座り方をしておけば、たとえば話をする先生や友だちが、前や後ろ・真ん中など、どの場所においても、お尻の骨を支点に、どこでも自由に向くことができます。どの方向に話す人がいても、すばやくその人の方向を向ける。それが、三角座りの良いところなのです」

この話の後、教師が実際に話す場所を変えてみましょう。子どもたちは便利さを体感できることでしょう。



イラスト | 吉田朋子